

Rational Developer for System z
バージョン 9.0.1

リリース情報



Rational Developer for System z
バージョン 9.0.1

リリース情報



お願い

本書をご使用になる前に、7 ページの『IBM Rational Developer for System z 資料に関する特記事項』に記載されている全体的な情報をお読みください。

本書は、IBM Rational Developer for System z バージョン 9.0.1、および新しい版で明記されていない限り、これ以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： GI13-1509-06

Rational Developer for System z Version 9.0.1 Release Notes

発行： 日本アイ・ピー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

第7版第1刷 2013.11

© Copyright IBM Corporation 1992, 2013.

リリース情報 - IBM Rational Developer for System z バージョン 9.0.1

© Copyright IBM Corporation 1992, 2013.

目次

- 『説明』
- 『発表レター』
- 2 ページの『システム要件』
- 2 ページの『Rational Developer for System z のインストール』
- 3 ページの『既知の問題』
- 3 ページの『IBM Rational ソフトウェア・サポート』

説明

IBM® Rational® Developer for System z® は、共通ワークベンチおよび統合ツール・セットで構成されており、これらのツールは単純なアプリケーションや複雑なアプリケーションのエンドツーエンドのモデル・ベース開発、ランタイム・テスト、および迅速なデプロイメントをサポートします。本製品により、WebSphere®、CICS®、および IMS™ 開発者による複雑なアプリケーションの迅速な分析、設計、コーディング、デバッグ、ならびにデプロイメントを支援する高度で使いやすいツールと機能を備えた統合開発環境 (IDE) が提供されます。

Rational Developer for System z バージョン 9.0.1 における機能強化と追加された機能について詳しくは、Rational Developer for System z インフォメーション・センター 内の新機能を参照してください。

Rational Developer ファミリー製品の詳細については、Rational Developer ファミリー製品 Web サイトを参照してください。

Adobe Acrobat Reader アクセシビリティ機能

Adobe Acrobat Reader のアクセシビリティ機能については、Adobe Acrobat Reader Help and Accessibility features を参照してください。

アクセシビリティの設定については、Reading PDF files with reflow and accessibility features を参照してください。

Adobe Acrobat Reader でのキーボードを使用した PDF ファイルのナビゲートについては、Adobe Acrobat Reader のヘルプおよび Keyboard shortcuts を参照してください。

発表レター

Rational Developer for System z の発表レターは、IBM Rational Developer for System z Web サイトのライブラリー・ページにあります。Rational Developer for System z

の発表レターを表示するには、その Web サイトにアクセスして該当するバージョンのタブをクリックし、「**Announcement Letter**」を選択してください。

発表レターには、以下の情報が含まれています。

- 製品説明 (新機能の説明など)
- 製品の位置付けについての記述
- パッケージと注文の詳細
- 国際対応に関する情報

システム要件

最新のハードウェア要件およびソフトウェア要件については、Rational Developer for System z Web サイトにアクセスし、「**System Requirements**」タブをクリックしてください。ハードウェア要求およびソフトウェア要件についての資料は、Rational Developer for System z Web サイトのライブラリー・ページにある Rational Developer for System z 前提条件ガイド (SC88-4704) を参照してください。

資料一式 (インストールの説明、ホワイト・ペーパー、ポッドキャスト、ケース・スタディー、チュートリアルを含む) の最新のバージョンについては、Rational Developer for System z の Web サイトのライブラリー・ページを参照してください。

クライアント・システムの要件については、「*Rational Developer for System z インストール・ガイド*」(GI88-4129) で前提条件に関する情報を参照してください。ホスト・システムの要件については、「*Rational Developer for System z 構成ガイド*」(SC88-5663) で前提条件に関する情報を参照してください。

Rational Developer for System z のインストール

Rational Developer for System z のヘルプ・コンテンツをローカルにインストールする方法について詳しくは、5 ページの『ローカル・ヘルプ更新プログラムと RDz901_updateSite.zip ファイルを使用してヘルプ・コンテンツをローカル側にインストールする方法』を参照してください。

Developer for System z のインストールおよび構成については、以下の資料を参照してください。

- **z/OS® ホストのインストール:** Rational Developer for System z Program Directory
- **基本および共通の z/OS ホスト・カスタマイズ:** IBM Rational Developer for System z ホスト構成ユーティリティー・ガイド
- **z/OS ホストの基本構成:** IBM Rational Developer for System z ホスト構成クイック・スタート・ガイド
- **z/OS ホストの詳細構成:** IBM Rational Developer for System z ホスト構成ガイド
- **z/OS ホストの構成のバックグラウンドおよびサポート情報:** IBM Rational Developer for System z ホスト構成リファレンス
- **クライアントのインストール:** IBM Rational Developer for System z インストール・ガイド

注: インストールおよび構成ガイドは、Rational Developer for System z インフォメーション・センター、および *Rational Developer for System z クイック・スタート・ガイド* およびドキュメンテーション・ディスク の Rational Developer for System z Web サイトのライブラリー・ページから入手できます。ホストのインストールおよび構成ガイドは、*Rational Developer for System z Server for z/OS* インストール・ディスク にも収められています。

注: 資料一式 (インストールの説明、ホワイト・ペーパー、ポッドキャスト、ケース・スタディー、チュートリアルを含む) の最新のバージョンについては、Rational Developer for System z の Web サイトのライブラリー・ページを参照してください。

既知の問題

既知の問題は、サポート知識ベース内に個別の文書として記録されています。問題が検出され、解決されると、知識ベースが新規が更新され、新しい情報が維持されます。知識ベースを検索することによって、問題の回避策や解決策を素早く見つけることができます。

今回の更新における既知の制約、および実施可能な回避策については Rational Developer for System z Technotes の検索結果を参照してください。

注: 以下の RSS フィードによって Rational Developer for System z に関して作成された最新のコンテンツで最新情報を把握できます。フィードは、常時更新されています。

Rational Developer for System z に関する最新の更新

IBM Rational ソフトウェア・サポート

連絡先およびガイドラインまたは参照資料については、*IBM Software Support Handbook*を参照してください。

FAQ、既知の問題と修正のリスト、およびその他のサポート情報については、Rational Developer for System z の製品サポート・ページをご覧ください。

製品のニュース、イベント、およびその他の情報については、Rational Developer ファミリー製品の製品ホーム・ページを参照してください。

Rational ソフトウェア・サポートに連絡する前に、問題の説明に必要な背景情報を収集してください。IBM ソフトウェア・サポート・スペシャリストに問題を説明する際には、スペシャリストが問題解決を支援できるように、できる限り具体的に、かつ、すべての関連情報を含めて説明してください。時間を節約するために、以下の質問に対する回答をあらかじめ準備しておいてください。

- 問題が発生したときに実行していたソフトウェアのバージョンは何ですか?
- 問題に関連したログ、トレース、またはメッセージはありますか?
- 問題を再現できますか? 再現できる場合は、どのような手順で再現できますか?
- 問題の回避策はありますか? ある場合は、その回避策を説明できるようにしておいてください。

ローカル・ヘルプ更新プログラムと RDz901_updateSite.zip ファイルを使用してヘルプ・コンテンツをローカル側にインストールする方法

リモート・ヘルプを使用して Web からヘルプ・コンテンツにアクセスせず、インターネットにアクセスできない場合は、ヘルプ・コンテンツをローカル側にインストールする必要があります。このトピックでは、ローカル・ヘルプ・システム更新プログラムおよびインストール・イメージで提供される RDz901_updateSite.zip ファイルを使用してヘルプ・コンテンツをインストールする方法について説明します。RDz901_updateSite.zip ファイルは、*IBM Rational Developer for System z* クイック・スタート・ディスクにあります。最新バージョンの RDz901_updateSite.zip ファイルは、<http://download.boulder.ibm.com/ibmdl/pub/software/rationalsdp/documentation/updatesites/> の更新ダウンロード・サイトから入手できます。

始める前に

インストール時に、ヘルプ・アクセス・オプション「ヘルプをダウンロードしてコンテンツにローカルにアクセス」を選択しました。

このタスクについて

製品のヘルプを使用する前に、ヘルプをローカル・システムにインストールする必要があります。

RDz901_updateSite.zip ファイルを使用してヘルプ・コンテンツをワークステーションにインストールするには、以下のステップを実行します。

手順

1. RDz901_updateSite.zip ファイルを <installation_location>/help/updates ディレクトリー (システム上で IBM Rational Developer for System z をインストールした場所) にコピーします。
2. IBM Rational Developer for System z を開きます。
3. 「ウィンドウ」>「設定」を選択し、「ヘルプ」>「内容」を選択します。ローカル・ヘルプが有効であり、リモート・ヘルプが無効であることを確認します。「プリファレンス」ウィンドウを閉じます。
4. IBM Rational Developer for System z をいったん閉じて、再始動します。
5. ヘルプの初期化が完了したら、ローカル・ヘルプのインストールが完了します。「ヘルプ」>「ヘルプ目次」を選択して、製品のヘルプを開きます。
6. ローカル・ヘルプ・コンテンツがインストールされていないことを示すメッセージが表示された場合、ローカル・ヘルプ更新プログラムを使用してローカル・ヘルプをインストールするように選択します。ローカル・ヘルプ更新プログラムが開いたら、以下のようになります。
 - a. 「サイト」プルダウンから「内部サイト」を選択します。
 - b. 「+」アイコンを選択して、場所を追加します。

- c. 「ローカル」を選択します。
- d. サイトの名前を入力します。
- e. 「参照 (‘...’)」をクリックして、RDz901_updateSite.zip ファイルをコピーした場所を参照し、site.xml ファイルを位置指定します。site.xml ファイルは、RDz901_UpdateSite_zip というサブディレクトリー内になければなりません。
- f. site.xml ファイルをダブルクリックしてから、「OK」をクリックします。
「OK」が有効になっていない場合、site.xml ファイルの完全修飾パスが指定されていることを確認します。進行状況表示バーが開き、RDz901_updateSite.zip ファイルに含まれている使用可能なフィーチャーをローカル・ヘルプ更新プログラムが検索する状況が追跡されます。指定した内部サイトが作成され、「サイト・リスト」に表示されます。
- g. 作成した内部サイトを選択します。使用可能な Rational Developer for System z ドキュメンテーション・フィーチャーが表示されます。
- h. インストールする Rational Developer for System z 資料を選択し、「インストール」をクリックします。
- i. インストールが完了したら、Rational Developer for System z を閉じてから再始動します。
- j. 「ヘルプ」>「ヘルプ目次」をクリックして、製品のヘルプを開きます。

タスクの結果

ローカル側にインストールするために選択したヘルプが、ご使用のシステムにインストールされ、使用可能になります。

IBM Rational Developer for System z 資料に関する特記事項

© Copyright IBM Corporation 1992, 2013.

U.S. Government Users Restricted Rights - Use, duplication or disclosure restricted by GSA ADP Schedule Contract with IBM Corp.

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において製造元所有以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

Intellectual Property Dept. for Rational Software
IBM Corporation
Silicon Valley Lab
555 Bailey Avenue
San Jose, CA 95141-1003
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのもと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確証できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラット

フォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。サンプル・プログラムは、現存するままの状態を提供され、いかなる保証条件も適用されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

それぞれの複製物、サンプル・プログラムのいかなる部分、またはすべての派生的創作物にも、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。

© (お客様の会社名) (西暦年). このコードの一部は、IBM Corp. のサンプル・プログラムから取られています。 © Copyright IBM Corp. 1992, 2013.

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

プライバシー・ポリシーの考慮事項

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品 (「ソフトウェア・オファリング」) では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。多くの場合、これらの「ソフトウェア・オファリング」により個人情報が収集されることはありません。一部の「ソフトウェア・オファリング」では、個人情報を収集することができます。この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie を使用して個人情報を収集する場合、このオファリングでの Cookie の使用に関する具体的事項を以下に明記します。

この「ソフトウェア・オファリング」が、Cookie または他のテクノロジーを使用して、個人情報を収集することはありません。

商標の帰属表示

IBM、IBM ロゴおよび ibm.com は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、 www.ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。
--



Printed in Japan

GI88-4275-04



日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21